

発 言 通 告 書

令和6年9月11日

松山市議会議長 原 俊 司 殿

松山市議会議員 田 坂 信 一

次のとおり通告します。

発言順位	3	受領日時	9月 11日 午後 1時 10分	1 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 40 分
答弁を求める者	・市長 ・農業委員会会長	・教育長 ・監査委員	・選挙管理委員会委員長 ・公営企業管理者	・公平委員会委員長

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	産業用地の確保に向けた取組等について	<p>(1) 市内の製造業が移転や事業拡張に伴って、次々と近隣の自治体に立地している状況をどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 産業用地の確保に向けた取組が遅れている状況をどのように捉え、どのように対応していくつもりか。</p> <p>(3) 県が昨年度実施した大規模産業用地適地選定調査の結果を受け、今後どのような整備手法により、いつ頃を目標に開発していくのか。</p> <p>(4) 県が調査した適地以外にも、市内にはどのような適地があるのか把握しているか。</p> <p>(5) 本市が把握している適地を、今後、開発する意思があるか。</p> <p>(6) 令和元年度以降の、市外からの企業誘致や市内企業の留置、増設に対する支援の実績について</p> <p>(7) 企業の誘致や留置に対する市長の意気込みを問う。</p>
2	病児・病後児保育事業について	<p>(1) 過去5年間の病児・病後児保育の利用実績について</p> <p>(2) 今年3月に西部地区で新規開設した後の月別の利用状況について</p> <p>(3) 北部地区での開設見込みと市内5か所体制となった後の考え方について</p>
3	建設業の働き方改革について	<p>(1) 重要な役割を担っている建設業を存続するため、長時間労働の是正等、労働環境の改善に向けた働き方改革を推進するために行ったこれまでの取組について</p> <p>(2) 今後、現場の効率化を高めるICTの活用等、有効な取組で働き方改革を推進していく必要があると思うが、今後の取組について所見を問う。</p>